

京都大学 大学院情報学研究科 知能情報学専攻

脳認知科学講座 脳情報学分野

教授：神谷之康 講師：細川浩 助教：前川真吾、間島 慶

脳信号から心を読む

脳の信号は心の状態を表現する「コード」と見なすことができます。本研究室では、機械学習等の情報科学の手法を利用して脳の情報処理や情報表現をモデル化し、脳から心の状態を解読（デコード）する方法の研究をしています。

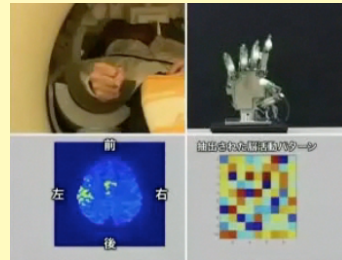
■ブレイン・デコーディング

ヒトの脳活動パターンから、見ている画像や想起しているイメージ、夢の内容などを解読する方法を開発することを通して、意識や心を生み出す脳の仕組みを理解する。



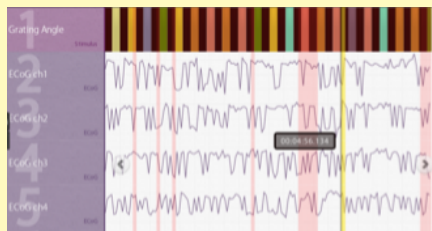
■ブレイン-マシン・インターフェース

脳活動を計測しながらリアルタイムで信号処理を行うことで、脳でロボットやコンピュータを制御するブレイン-マシン・インターフェースを開発する。



■ニューロインフォマティクス

脳と行動の時系列データを計算機による自動処理に適した形で保存・共有する情報基盤を構築し、脳データの検索手法やその応用技術を開発する。



居室： 医学部構内 先端科学研究棟5F



(参考：ATR神谷研究室のホームページ：<http://www.cns.atr.jp/dni/>)